

令和3年度 第1回 宇都宮市食育推進会議

日時：令和3年8月2日（月）
13時30分から14時30分
場所：宇都宮市役所 14A会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 委員紹介

4 副会長選出

5 議 事

(1) 報告事項

- ア 「第3次宇都宮市食育推進計画」の取組状況と評価について…… 資料1-1
- ・ 第3次宇都宮市食育推進計画における事業一覧 …………… 資料1-2
 - ・ 評価対象外事業 …………… 資料1-3

イ 「令和2年度食育に関する意識調査」の結果について

- ・ 食育に関する意識調査の概要 …………… 資料2-1
- ・ 食育に関する意識調査の結果について …………… 資料2-2
- ・ 食育に関する意識調査のまとめ …………… 資料2-3

ウ 「(仮称)第4次宇都宮市食育推進計画」の策定について …… 資料3-1

- ・ 「(仮称)第4次宇都宮市食育推進計画」策定体制 …………… 資料3-2

(2) 協議事項

- ア 「(仮称)第4次宇都宮市食育推進計画」の方向性について …… 資料4-1
- ・ 《参考》第3次宇都宮市食育推進計画概要版 …………… 資料4-2
 - ・ 《参考》第4次食育推進基本計画の概要 …………… 資料4-3
 - ・ 《参考》第4期栃木県食育推進計画の概要 …………… 資料4-4

6 その他

7 閉会

【参考資料】

- 宇都宮市食育推進会議条例 …………… 参考1
- 宇都宮市食育推進会議規則 …………… 参考2
- 附属機関等の会議の公開に関する要領 …………… 参考3

宇都宮市食育推進会議 委員名簿

《任期：令和2（2020）年4月1日～令和4（2022）年3月31日》

| 委員種別 | No. | 氏名 | 団体名 |
|---------------------------------------|-------|-------------------|---------------------|
| 第1号委員 (市議会議員) | 1 | 内藤 良弘 | 宇都宮市議会 |
| | 2 | 渡辺 道仁 | 宇都宮市議会 |
| 第2号委員 (学識経験者) | 3 | 大森 玲子 | 宇都宮大学 |
| | 4 | 大房 一裕 | 公益財団法人 栃木県農業振興公社 |
| 第3号委員 (食育の関係団体を 代表する者) | 5 | 遠藤 秀樹 | 一般社団法人 宇都宮市医師会 |
| | 6 | 北條 雅人 | 一般社団法人 宇都宮市歯科医師会 |
| | 7 | 手塚 浩子 | 栃木県保育協議会中央地区保育研究会 |
| | 8 | 岩本 眞砂枝 | 宇都宮地区幼稚園連合会 |
| | 9 | 石川 晴美 | 宇都宮市小学校長会 |
| | 10 | 坂本 治己 | 栃木県学校栄養士会宇河支部 |
| | 11 | 福田 治久 | 宇都宮市PTA連合会 |
| | 12 | 増渕 祥子 | 宇都宮市食生活改善推進員協議会 |
| | 13 | 塩澤 美枝子 | 宇都宮市消費者友の会 |
| | 14 | 高橋 友久 | 栃木県調理師連合会 |
| | 15 | 中野 智之 | 栃木県生活衛生同業組合協議会宇都宮支部 |
| | 16 | 檜原 貞亮 | 宇都宮商工会議所 |
| | 17 | 半田 俊夫 | 宇都宮農業協同組合 |
| 18 | 増渕 静枝 | 宇都宮市農村生活研究グループ協議会 | |
| 第4号委員 (前各号に掲げる者のほか、 市長が適当と認める者) | 19 | 荒川 昭子 | 公募委員 |
| | 20 | 坂本 理江子 | 公募委員 |

「第3次宇都宮市食育推進計画」の取組状況と評価について

1 計画の体系

本計画は、市民が食育の「実践」を通して、生涯にわたり人間力の向上を図るための指針として基本理念を掲げている。

また、基本理念のもと、市民の目指すべき姿として3つの基本目標を掲げ、基本目標を達成するために、8つの「基本施策」を計画の体系の柱とし、「基本施策」ごとに施策指標を設定している。

〔計画の体系〕

基本理念

食の大切さを理解し、食に対する感謝の気持ちを深め、心身の健康と豊かな人間性を育み、人間力の向上を図る。

【基本目標1】

身体の事を考え、食事のバランスなどを心がけて食べます。

【基本目標2】

家庭だけでなく地域や職場で食を支え、楽しく食べます。

【基本目標3】

食への関心や感謝の気持ちを持ち、地元でとれたものを無駄なくおいしく食べます。

8 つ の 基 本 施 策

子どもの頃から
の健全な食生活の
推進

生活習慣病の
予防や改善に
向けた食育の
推進

歯と口の健康
づくりの推進

家庭における
食育の推進

地域や職場に
おける食育の
推進

食の循環や環
境への理解の
促進

食文化の継承

食品の安全性
の確保

施策
指標

施策
指標

施策
指標

施策
指標

施策
指標

施策
指標

施策
指標

施策
指標

合計

| | | | | | | | | | |
|-----|----|----|---|----|---|----|---|---|----|
| 事業数 | 14 | 17 | 7 | 10 | 7 | 14 | 5 | 6 | 80 |
| 重点 | 4 | 2 | 1 | 2 | 3 | 2 | 2 | 1 | 17 |

2 令和2年度の評価について（資料1-2参照）

(1) 評価基準について

評価の基準について、下記のとおりとする。

<構成事業の評価基準>

- ・ 年次目標に対する進捗率が、90%以上 : A 達成している
- ・ 年次目標に対する進捗率が、70～90%未満 : B 概ね達成している
- ・ 年次目標に対する進捗率が、70%未満 : C 達成していない

<基本施策・重点事業の評価基準>

- ・ 構成事業の評価A・B割合90%以上 : 順調
- ・ 構成事業の評価A・B割合65～90%未満 : 概ね順調
- ・ 構成事業の評価A・B割合65%未満 : やや遅れ

(2) 基本施策別の評価

基本目標の達成に向けて取り組むべき施策として設定されている8つの基本施策について評価した。

〔C達成していない〕の評価となった事業については、講座などの開催時期、対象人数、実施回数などを変更し、感染防止対策を徹底して実施したほか、イベントを活用した啓発については、リーフレット配布や市ホームページへの掲載など、実施方法を検討し、工夫しながら、事業の実施につなげた。

新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかった17事業については評価対象外とした。資料1-3

【基本目標1】

身体の事を考え、食事のバランスなどを心がけて食べます。（括弧内の数字は重点事業数）

| 基本施策 | 構成事業の評価 | | | 事業数 | 基本施策の評価 (A・B割合) |
|------------------------|---------|-------|-------|--------|--------------------|
| | A | B | C | | |
| 1 子どもの頃からの健全な食生活の推進 | 5 (1) | 4 (2) | 3 (1) | 12 (4) | 概ね順調(75.0%) |
| 2 生活習慣病の予防や改善に向けた食育の推進 | 5 | 4 | 4 (2) | 13 (2) | 概ね順調(69.2%) |
| 3 歯と口の健康づくりの推進 | 4 | 1 (1) | 1 | 6 (1) | 概ね順調(83.3%) |

基本施策1「子どもの頃からの健全な食生活の推進」

【取組と評価】

- ・ 3歳児健康診査における栄養指導実施事業（No.1）については、新型コロナウイルス感染症の影響により、3歳児健康診査時の乳幼児の保護者を対象とした集団での栄養に関する講話は中止としたが、肥満傾向の受診児とその保護者に対し、個別相談で対応した。
- ・ 学校における献立等を通じた家庭への食育啓発事業（No.13）については、学校での食育の取組を家庭へ知らせ、保護者への理解促進を図るため、全各小中学校において食育だよりやホームページ等により啓発した。
- ・ 12事業のうち9事業がA・B評価（概ね順調）となり、子どもの頃からの健全な食生活の推進を図ることができた。

【課題】

- ・ 今後は、乳幼児の保護者に対する栄養相談の実施や小中学校において保護者へ食に関する情報発信を行うなど、子どもの頃からの規則正しい食生活を身に付けるための取組を強化していく必要がある。

基本施策2「生活習慣病の予防や改善に向けた食育の推進」**【取組と評価】**

- ・ 栄養相談事業（No.17）については、乳幼児から高齢者までの幅広い年齢層に対し、様々な栄養に関する相談について対面や電話で個別に行い、市民の健康の保持増進につなげるために適切な指導助言を行った。
- ・ 健康づくり栄養教室実施事業（No.19）については、市民が日頃の食生活を見直し、改善に取り組めるよう、青壮年期のメタボリックシンドローム予防や高齢期の低栄養予防についての教室を新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、定員を減らし、実施した。
- ・ 13事業のうち9事業がA・B評価（概ね順調）となり、生活習慣病の予防や改善に向けた食育の推進を図ることができた。

【課題】

- ・ 今後は、各世代に応じた栄養バランスのとれた食生活が維持できるよう、ライフステージごとの健康課題を解決するための個別相談や、栄養教室を開催するなど、日頃の食生活を見直し、生活習慣病の予防や改善を図っていく必要がある。

基本施策3「歯と口の健康づくりの推進」**【取組と評価】**

- ・ 歯の健康講座実施事業（No.33）については、市民がライフステージに合わせた歯の健康づくりに取り組めるよう、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、定員を減らして講座を実施した。
- ・ 中学生における歯科保健啓発事業（No.38）については、生徒自身が主体的に口腔機能の維持・向上に取り組むよう、指導用DVDを活用した指導を全中学校で実施した。
- ・ 6事業のうち5事業がA・B評価（概ね順調）となり、歯と口の健康づくりの推進を図ることができた。

【課題】

- ・ 歯と口の健康づくりに対する関心と理解を深めるため、引き続き、講座を実施するほか、全中学生を対象とした歯科保健指導を行うなど、更なる普及啓発を図り、歯と口の健康を通じた食育を推進していく必要がある。

【基本目標2】

家庭だけでなく地域や職場で食を支え、楽しく食べます。（括弧内の数字は重点事業数）

| 基本施策 | 構成事業の評価 | | | 事業数 | 基本施策の評価 (A・B割合) |
|------------------|---------|-------|-------|-------|--------------------|
| | A | B | C | | |
| 4 家庭における食育の推進 | 2 (1) | 0 | 5 | 7 (1) | やや遅れ(28.6%) |
| 5 地域や職場における食育の推進 | 2 | 2 (1) | 2 (2) | 6 (3) | 概ね順調(66.7%) |

基本施策4「家庭における食育の推進」

【取組と評価】

- ・ 在家庭乳幼児や保護者への食育啓発事業(No.45), うつのみや版親学の推進事業(No.46), 各種家庭教育講座の実施事業(No.47)などについては, 新型コロナウイルス感染症の影響で, 対面での講座等の実施回数が大幅に減少したことなどにより, 評価はやや遅れとなった。子育てサロンやサークルなどでは, 在家庭乳幼児や保護者への相談業務を電話で行うなど, 保護者の不安軽減に向けた取組を実施した。

【課題】

- ・ 家族との食事やふれあいを通して, 子どもの保護者の食育への関心を高め, 望ましい食習慣の定着を図るため, 食に関する相談業務を行うほか, 対面での講座等に加え, オンラインを活用した事業を実施することなどにより, 家庭における食育を推進していく必要がある。

基本施策5「地域や職場における食育の推進」

【取組と評価】

- ・ 健康経営推進事業(No.55)については, 企業の健康経営の取組を支援するため, 新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ, 対面ではなくオンラインでセミナーを実施したほか, 健康づくりに関する情報発信を行った。
- ・ 6事業のうち4事業がA・B評価(概ね順調)となり, 地域や職場における食育の推進を図ることができた。

【課題】

- ・ 家族構成やライフスタイルが多様化する中で, 市民の健全な食生活の実践につなげるため, 引き続き, 企業に対する健康づくりに関するセミナーの開催や情報発信を行うなど, より一層, 地域や職場における食育を推進していく必要がある。

【基本目標3】

食への関心や感謝の気持ちを持ち, 地元でとれたものを無駄なくおいしく食べます。

(括弧内の数字は重点事業数)

| 基本施策 | 構成事業の評価 | | | 事業数 | 基本施策の評価 (A・B割合) |
|------------------|---------|---|-------|-------|--------------------|
| | A | B | C | | |
| 6 食の循環や環境への理解の促進 | 6 (1) | 1 | 2 (1) | 9 (2) | 概ね順調 (77.8%) |
| 7 食文化の継承 | 2 (1) | 0 | 2 | 4 (1) | やや遅れ(50.0%) |
| 8 食品の安全性の確保 | 4 | 0 | 2 (1) | 6 (1) | 概ね順調 (66.7%) |

基本施策6「食の循環や環境への理解の促進」

【取組と評価】

- ・ 教育・保育施設等における食物栽培体験事業(No.61)については, 新型コロナウイルス感染症の影響で, 一部の施設で実施を見合わせたが, 大多数の教育・保育施設等で乳幼児や保護者を対象とした食物栽培等の体験活動通じ, 食の大切さや感謝の気持ちを育むための栽培体験が実施できた。
- ・ 食農体験学習事業(No.63)については, 新型コロナウイルス感染症の影響で, 一部の学校で実施を見合わせたが, 大多数の小中学校で児童生徒が農業や食への理解や関心を深めるための農業体験等が実施できた。
- ・ 9事業のうち7事業がA・B評価(概ね順調)となり, 食の循環や環境への理解の促進を図ることができた。

【課題】

- ・ 地場農産物や食品の廃棄などに関心を持ち, 食が多くの人に支えられていることなどの食に関する理解を深めるため, 引き続き, 子どもの頃からの栽培体験や食農体験学習を実施するなど, より一層, 食の循環や環境への理解を促進する取組を推進していく必要がある。

基本施策7「食文化の継承」

【取組と評価】

- ・ 伝統料理講習会実施事業（No.74）などについては、新型コロナウイルス感染症の影響で、開催時期を検討し、感染防止対策を徹底したうえで、事業を実施したが、目標としていた回数に達しなかったことにより、評価はやや遅れとなった。

【課題】

- ・ 食文化に対する理解を深め、地域や家庭で慣れ親しんだ行事食や季節の料理などを次世代に継承していくため、郷土料理や伝統料理に関する対面での講座に加え、市ホームページ等を通じた情報発信を強化することにより、子どもの頃から郷土の食文化について関心を高める取組を行う必要がある。

基本施策8「食品の安全性の確保」

【取組と評価】

- ・ 食品関係施設への監視指導実施事業（No.76）については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、高齢者施設や保育園等への監視を控え、食中毒リスクの高い食肉・魚介類取扱施設について重点的に監視を行った。
- ・ 食品衛生に関するホームページやメール配信等による周知啓発事業（No.78）については、食品に関する不安を解消するため、情報誌により信頼性のある的確な情報を発信した。
- ・ 6事業のうち4事業がA・B評価（概ね順調）となり、食品の安全性を確保し、市民の不安解消への取組を実施することができた。

【課題】

- ・ 食の安全に関する知識や理解の促進のため、引き続き、監視指導を実施するほか、市民へ情報提供を行うなど、食品の安全性を確保し、食に対する不安を解消するための取組を、より一層推進していく必要がある。

(3) 重点事業の評価

| 構成事業の評価 | 事業数 | 割合 | 重点事業の評価 (A・B割合) |
|-------------------------|-----|-------|--------------------|
| A 達成している（進捗率90%以上） | 4 | 26.7% | やや遅れ (53.4%) |
| B 概ね達成している（進捗率70~90%未満） | 4 | 26.7% | |
| C 達成していない（進捗率70%未満） | 7 | 46.6% | |
| 合計 | 15 | | |

- ・ 重点事業の15事業のうち、令和2年度の年次目標に対して、[A達成している]、[B概ね達成している]の評価となった事業は、いずれも4事業（26.7%）であり、A・B割合は8事業（53.4%）となっている。重点事業全体としては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、やや遅れの評価となったが、出前講座や講習会などは、対象人数や実施回数、実施方法などを変更し、感染防止対策を徹底しながら事業を実施した。
- ・ [A達成している]となった事業のうち、「お弁当の日実施事業」（No.39）については、新型コロナウイルス感染症の影響により、児童生徒が主食のおにぎりを家庭で作って持参し、給食でおかずを提供する方法で小中学校全校が実施し、家庭での実践と組み合わせて実施することで、児童生徒が、自分や家族の健康を考えて食事を作るための基礎を身に付けることにつながった。
- ・ [B概ね達成している]となった事業のうち、「宮っこ食育応援団との連携事業」（No.50）については、協力団体数は目標値を下回った。食育イベント等の中止により、イベント参画での連携ができなかったが、リーフレット配布等への協力を得ることができ、市民への食育の普及啓発につながった。

3 「第3次宇都宮市食育推進計画」の評価について

| | 基本施策 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---|--------------------------|----------------|-----------------|-----------------|--------------------------------|
| 【基本目標1】 身体の事を考え、食事のバランスなどを心がけて食べます。 | (1) 子どもの頃からの健全な食生活の推進 | 順調 (100.0%) | 順調 (100.0%) | 順調 (100.0%) | ※ ¹ 概ね順調 (75.0%) |
| | (2) 生活習慣病の予防や改善に向けた食育の推進 | 順調 (100.0%) | 順調 (94.1%) | 順調 (94.1%) | ※ ¹ 概ね順調 (69.2%) |
| | (3) 歯と口の健康づくりの推進 | 順調 (100.0%) | 順調 (100.0%) | 概ね順調 (85.7%) | 概ね順調 (83.3%) |
| 【基本目標2】 家庭だけでなく地域や職場で食を支え、楽しく食べます。 | (4) 家庭における食育の推進 | 順調 (100.0%) | 順調 (100.0%) | 順調 (100.0%) | ※ ² やや遅れ (28.6%) |
| | (5) 地域や職場における食育の推進 | 順調 (100.0%) | 概ね順調 (85.7%) | 概ね順調 (85.7%) | 概ね順調 (66.7%) |
| 【基本目標3】 食への関心や感謝の気持ちを持ち、地元でとれたものを無駄なくおいしく食べます。 | (6) 食の循環や環境への理解の促進 | 順調 (100.0%) | 順調 (100.0%) | 順調 (92.9%) | ※ ¹ 概ね順調 (77.8%) |
| | (7) 食文化の継承 | 順調 (100.0%) | 順調 (100.0%) | 概ね順調 (80.0%) | ※ ² やや遅れ (50.0%) |
| | (8) 食品の安全性の確保 | 順調 (100.0%) | 順調 (100.0%) | 順調 (100.0%) | ※ ¹ 概ね順調 (66.7%) |

(1) 基本施策の評価

【「順調」が「概ね順調」となった要因】

- ・ 8つの基本施策のうち、「子どもの頃からの健全な食生活の推進」や「生活習慣病の予防や改善に向けた食育の推進」を含む4つの施策（※¹）については、「順調」から「概ね順調」となった。その要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響をうけ、イベントや講座等が中止となったことにより、評価対象外となり、実施した事業で評価した結果、相対的に評価が低下したことによるものである。

【「やや遅れ」となった要因】

- ・ 「家庭における食育の推進」と「食文化の継承」の2つの施策については、「やや遅れ」（※²）となった。その要因としては、新型コロナウイルス感染症による感染症対策のため、食育に関する講座やイベント、栄養相談など対面で実施する事業の参加機会が制限されたことなどが考えられる。

(2) 課題

- ・ 子どもから高齢者まで、生涯にわたり、栄養バランスのとれた食生活ができるよう、生活習慣の予防や改善に向けた各種事業について、構成内容等を見直し、ライフステージに応じた取組を推進することにより、市民の行動変容へつなげていく必要がある。
- ・ 生産から消費に至るまでの理解を深め、食に感謝する心の醸成を図るため、地場農産物や食品の廃棄などに関する事業について、農業及び食への関心を高める多様な取組を推進することにより、更なる理解促進を図る必要がある。

(3) 今後の方向性

- ・ 今後は、「新たな日常」に即した食育に関する事業を実施することから、講座や研修会については、オンラインで動画等を配信できる環境（非接触・非対面）を整え、インターネットを活用した講座等を開催するなど、より効果的な情報発信を行っていく。
- ・ また、子どもから高齢者の各世代が、望ましい食生活が送れるよう、講座や栄養相談等の事業をライフステージに応じた内容構成として展開し、市民の食育の実践につなげる取組を行っていく。

令和2年度 構成事業の進捗について（評価対象事業：63事業／80事業）

（進捗状況が90%以上を「A」、70%以上90%未満を「B」、70%未満を「C」とする。）

1 子どもの頃からの健全な食生活の推進（◎は重点事業）

| No. | 事業名 | 活動指標 | 目標値 | 実績値 (進捗率) | 評価 |
|-----|-------------------------------|-------------------------|-------|------------------|----|
| 1 | ◎3歳児健康診査における栄養指導実施事業 | 3歳児健診実施回数 | 112 | 102 (91.1%) | A |
| 2 | ◎食に関する指導実施事業 | 学校栄養士が食に関する授業に参画した学校数 | 93 | 75 (80.6%) | B |
| 3 | ◎高校・大学等との食育連携事業 | 啓発事業の実施回数 | 8 | 5 (62.5%) | C |
| 4 | ◎食育教室実施事業 | 食育教室受講人数 | 180 | 152 (84.4%) | B |
| 6 | 給食施設指導事業 | 巡回指導を実施する給食施設数 | 60 | 55 (91.7%) | A |
| 7 | 食育情報コーナーでの食育啓発事業 | 資料配布数 | 3,300 | 2,355 (71.4%) | B |
| 8 | 働く世代を対象とした食育推進事業 | 啓発事業の実施回数 | 13 | 3 (23.1%) | C |
| 9 | 調理実習レシピ等を活用した食育啓発事業 | 新作レシピ総掲載数 | 100 | 128 (128%) | A |
| 10 | 栄養相談（母子） ※子どもに関する相談 | 地区の栄養相談・親子の食生活の相談実施回数 | 136 | 7 (5.1%) | C |
| 11 | 教育・保育施設等における献立等を通じた家庭への食育啓発事業 | 食育だよりを発行している教育・保育施設等の割合 | 100 | 84 (84%) | B |
| 12 | お弁当の日の実施事業 | 「お弁当の日」を実施している学校数 | 93 | 93 (100%) | A |
| 13 | 学校における献立等を通じた家庭への食育啓発事業 | 食育だよりを発行している学校数 | 93 | 93 (100%) | A |

2 生活習慣病の予防や改善に向けた食育の推進（◎は重点事業）

| No. | 事業名 | 活動指標 | 目標値 | 実績値 | 評価 |
|-----|-------------------|---|--------|--------------------|----|
| 15 | ◎働く世代を対象とした食育推進事業 | 啓発事業の実施回数 | 13 | 3 (23.1%) | C |
| 16 | ◎食育出前講座 | 講座の実施回数 | 42 | 15 (35.7%) | C |
| 17 | 栄養相談事業 | 栄養相談の実施回数 | 290 | 291 (100.3%) | A |
| 18 | 給食施設指導事業 | 巡回指導を実施する給食施設数 | 60 | 55 (91.7%) | A |
| 19 | 健康づくり栄養教室実施事業 | 栄養教室受講人数 | 90 | 113 (125.6%) | A |
| 20 | 健康づくり実践活動支援事業 | 全体研修会及びスキルアップ研修の実施回数 | 5 | 1 (20%) | C |
| 21 | 食育教室実施事業 | 食育教室の受講人数 | 180 | 152 (84.4%) | B |
| 24 | 食育情報コーナーでの食育啓発事業 | 資料配布数 | 3,300 | 2,355 (71.4%) | B |
| 25 | 食に関する取組実施団体の登録事業 | 宮っこ食育応援団の登録団体数 | 95 | 83 (87.4%) | B |
| 26 | 食の自立支援（配食サービス）事業 | 配食サービス提供食数 | 51,276 | 51,970 (101.4%) | A |
| 28 | ヘルシーメニューの普及啓発事業 | 食生活改善推進員のヘルシーメニューを活用した講話・調理実習・試食提供の実施回数 | 82 | 31 (37.8%) | C |
| 29 | 宮っこ食育応援団との連携事業 | 食育啓発イベント等への協力団体数 | 85 | 71 (83.5%) | B |
| 30 | 健康経営推進事業 | 健康経営に関するセミナーの開催回数 | 1 | 2 (200%) | A |

3 歯と口の健康づくりの推進 (◎は重点事業)

| No. | 事業名 | 活動指標 | 目標値 | 実績値 (進捗率) | 評価 |
|-----|--------------------|---------------------------|------|-----------------|----|
| 32 | ◎歯科健診実施事業 | 集団健診実施回数 | 79 | 62 (78.5%) | B |
| 33 | 歯の健康講座実施事業 | 講座の参加人数 | 60 | 121 (201.7%) | A |
| 34 | 歯と口腔の健康づくり出前講座実施事業 | 講座の実施回数 | 15 | 4 (26.7%) | C |
| 36 | 子どものむし歯予防事業 | 2歳5か月児歯科健康診査受診率 | 78.5 | 72 (91.7%) | A |
| 37 | 歯の健康教室実施事業 | 小学3年生対象「歯の健康教室」を実施している学校数 | 68 | 67 (98.5%) | A |
| 38 | 中学生における歯科保健啓発事業 | 歯科保健指導を実施している学校数 | 25 | 25 (100%) | A |

4 家庭における食育の推進 (◎は重点事業)

| No. | 事業名 | 活動指標 | 目標値 | 実績値 (進捗率) | 評価 |
|-----|---------------------|--------------------------------|-------|----------------|----|
| 39 | ◎お弁当の日の実施事業 | 「お弁当の日」を実施している学校数 | 93 | 93 (100%) | A |
| 41 | 栄養相談(母子)※子どもに関する相談 | 地区の栄養相談・親子の食生活の相談実施回数 | 136 | 7 (5.1%) | C |
| 42 | ふれあいのある家庭づくり推進事業 | ふれあいのある家庭づくり作品コンクール作品応募数 | 1,200 | 648 (54%) | C |
| 44 | 3歳児健康診査における栄養指導実施事業 | 3歳児健診実施回数 | 112 | 102 (91.1%) | A |
| 45 | 在家庭乳幼児や保護者への食育啓発事業 | 食育に関する講座への参加親子組数 | 640 | 189 (29.5%) | C |
| 46 | うつのみや版親学の推進事業 | 親学出前講座全体の実施件数における食育関連講座の割合 | 12 | 1 (8.3%) | C |
| 47 | 各種家庭教育講座の実施事業 | 各生涯学習センターにおける子育て世代を対象にした講座開催回数 | 43 | 19 (44.2%) | C |

5 地域や職場における食育の推進 (◎は重点事業)

| No. | 事業名 | 活動指標 | 目標値 | 実績値 (進捗率) | 評価 |
|-----|------------------|----------------------|-----|----------------|----|
| 49 | ◎健康づくり実践活動支援事業 | 全体研修会及びスキルアップ研修の実施回数 | 5 | 1 (20%) | C |
| 50 | ◎宮っこ食育応援団との連携事業 | 市が主催する食育啓発への協力団体数 | 85 | 71 (83.5%) | B |
| 51 | ◎地域における食育推進事業 | 食生活改善推進員の地区活動回数 | 725 | 170 (23.4%) | C |
| 52 | 食に関する取組実施団体の登録事業 | 宮っこ食育応援団登録団体数 | 95 | 83 (87.4%) | B |
| 54 | 給食施設指導事業 | 巡回指導を実施する給食施設数 | 60 | 55 (91.7%) | A |
| 55 | 健康経営推進事業 | 健康経営に関するセミナーの開催回数 | 1 | 2 (200%) | A |

6 食の循環や環境への理解の促進 (◎は重点事業)

| No. | 事業名 | 指標 | 目標値 | 実績値 | 評価 |
|-----|----------------------|-------------------------|--------|-------------------|----|
| 56 | ◎地産地消推進事業 | 地産地消推進店舗数 | 157 | 166 (105.7%) | A |
| 57 | ◎もったいない生ごみ減量化事業 | 分別講習会等の参加人数 | 4,060 | 41 (1%) | C |
| 58 | 食育月間における啓発事業 | 関係各課の食育月間における取組の合計数 | 3 | 8 (266.7%) | A |
| 60 | 食育情報コーナーでの食育啓発事業 | 資料配布数 | 3,300 | 2,355 (71.4%) | B |
| 61 | 教育・保育施設等における食物栽培体験事業 | 栽培体験を実施している教育・保育施設等の割合 | 100 | 92 (92%) | A |
| 63 | 食農体験学習事業 | 事業を実施している学校数 | 93 | 86 (92.5%) | A |
| 65 | 宇都宮産米消費拡大事業 | お米セット配布数 | 14,400 | 13,688 (95.1%) | A |
| 67 | 中央卸売市場出張市場講座実施事業 | 講座の実施回数 | 10 | 1 (10%) | C |
| 68 | 学校給食における地産地消推進事業 | 学校給食に使用した食品のうち地場産食材数の割合 | 30 | 35.6 (118.7%) | A |

7 食文化の継承 (◎は重点事業)

| No. | 事業名 | 指標 | 目標値 | 実績値 (進捗率) | 評価 |
|-----|--|---------------------------------|--------|-------------------|----|
| 70 | ◎学校給食における食文化の継承推進事業 | 学校給食に郷土料理や行事食を提供している学校数 | 93 | 93 (100%) | A |
| 72 | 宇都宮産米消費拡大事業 | お米セット配布数 | 14,400 | 13,688 (95.1%) | A |
| 73 | 伝統文化ホームページ(宇都宮の歴史と文化財ホームページ)や広報紙等による周知啓発事業 | 伝統料理講座, 伝統文化講座, 上河内民俗資料館の講座受講人数 | 150 | 24 (16%) | C |
| 74 | 伝統料理講習会実施事業 | 伝統食講座の開催回数 | 5 | 1 (20%) | C |

8 食品の安全性の確保 (◎は重点事業)

| No. | 事業名 | 指標 | 目標値 | 実績値 (進捗率) | 評価 |
|-----|--------------------------------|--------------|--------|------------------|----|
| 75 | ◎市民・事業者へのリスクコミュニケーション推進事業 | 講習会の開催回数 | 60 | 19 (31.7%) | C |
| 76 | 食品関係施設への監視指導実施事業 | 監視件数 | 7,500 | 6,804 (90.7%) | A |
| 77 | 食品安全イベント実施事業 | イベント開催回数 | 6 | 3 (50%) | C |
| 78 | 食品衛生に関するホームページやメール配信等による周知啓発事業 | 情報誌配布部数 | 10,000 | 10,000 (100%) | A |
| 79 | 食品事業者への衛生知識の普及啓発事業 | 食品衛生講習会開催回数 | 33 | 35 (106.1%) | A |
| 80 | 調理従事者講習会実施事業 | 調理従事者講習会実施回数 | 1 | 1 (100%) | A |

令和 2 年度 評価対象外事業（17 事業 / 80 事業）

1 子どもの頃からの健全な食生活の推進（2 事業 / 14 事業）

| No. | 事業名 | 活動指標 |
|-----|--------------------|----------------|
| 5 | 食育啓発イベント実施事業 | イベント開催回数 |
| 14 | 学校における食育の家庭・地域連携事業 | 交流給食を実施している学校数 |

2 生活習慣病の予防や改善に向けた食育の推進（4 事業 / 17 事業）

| No. | 事業名 | 活動指標 |
|-----|--------------|-----------------|
| 22 | 食育啓発イベント実施事業 | イベント開催回数 |
| 23 | 食育指導者研修会実施事業 | 研修会実施回数 |
| 27 | 糖尿病普及啓発事業 | 事業の実施回数 |
| 31 | 糖尿病合併症予防実施事業 | 糖尿病合併症予防講習会開催回数 |

3 歯と口の健康づくりの推進（1 事業 / 7 事業）

| No. | 事業名 | 活動指標 |
|-----|------------------|------------------|
| 35 | 歯と口の健康週間イベント実施事業 | 歯と口の健康週間イベント入場者数 |

4 家庭における食育の推進（◎は重点事業 3 事業 / 10 事業）

| No. | 事業名 | 活動指標 |
|-----|----------------------|--------------|
| 40 | ◎ワーク・ライフ・バランス推進事業 | 食に関する講座開催回数 |
| 43 | 健康教育（母子）※離乳食に関する健康教育 | すこやか親子講座実施回数 |
| 48 | 父と子の料理教室実施事業 | 父と子の料理教室開催回数 |

5 地域や職場における食育の推進（1 事業 / 7 事業）

| No. | 事業名 | 活動指標 |
|-----|--------------|----------|
| 53 | 食育啓発イベント実施事業 | イベント開催回数 |

6 食の循環や環境への理解の促進 (5事業/14事業)

| No. | 事業名 | 指 標 |
|-----|--------------------------|-----------------|
| 59 | 食育指導者研修会実施事業 | 研修会実施回数 |
| 62 | 「もったいない残しま10(てん)！」運動実施事業 | 「もったいないフェア」来場者数 |
| 64 | 農林業祭実施事業 | 来場者数 |
| 66 | 市場流通に係る普及啓発事業 | 市場見学会の実施回数 |
| 69 | アグリスクール実施事業 | アグリスクールの実施回数 |

7 食文化の継承 (◎は重点事業 1事業/5事業)

| No. | 事業名 | 指 標 |
|-----|-------------------------|---------------------|
| 71 | ◎文化イベント事業における伝統食の周知啓発事業 | 伝統食の試食数とミニ料理教室の参加人数 |